

第2次安芸高田市総合計画基本構想素案に寄せられた パブリックコメントのご意見と回答（案）

基本構想素案に対しご意見をいただき、ありがとうございました。ご意見に対する市の考え方を次のとおりお答えいたします。

番号	指摘場所	ご意見の概要	回答
1	構想全般	基本構想を変更するのであれば、変更した内容について説明が必要ではないか。	<p>現行の総合計画は、安芸高田市発足当初、「旧6町の速やかな一体化を推進する」とともに、「地域の個性を生かした新市の均衡ある発展と、住民の福祉の向上を図る」こと。また、合併によるスケールメリットを活かしたまちづくりをめざすことを念頭に策定しました。</p> <p>この10年間の様々な取組みにより、安芸高田市の一本化は図られてきたと捉えています。</p> <p>しかし、厳しい財政状況や予想を上回る人口減少等は、今後さらに厳しさを増すことが想定されています。</p> <p>そこでこの度、現行の計画期間が満了になり、次期の計画を策定するあたり、これからの10年間を見据え、より安芸高田市を発展させるために、「人がつながる田園都市 安芸高田」を将来像に掲げ、「市民と行政の協働」による取組みや、「自助・共助・公助」の支え合いの考え方を基底に据えた挑戦が必要との考えから、3つの挑戦を新たな都市像として政策を展開した</p>

			<p>いと考えています。</p> <p>このことについては、P1 の「計画策定の背景・目的」、P11 の「前回計画の概要」及び P19 の「将来像」等において記述しています。</p>
2	構想全般	基本構想の中に「地方創生」という表現をうたってはどうか。	<p>国は、「人口減少克服・地方創生」に正面から取り組むため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人口の東京一極集中への歯止め ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現 ③ 地域の特性に即した地域課題の解決 <p>の3つの基本的視点を掲げています。</p> <p>この度策定する基本構想は、向こう 10 年間の安芸高田市のまちづくりの方向性を示すものです。</p> <p>基本構想素案にお示しした3つの「挑戦する都市像」及び9つの「政策目標」は、安芸高田市の10年後を見据え、安芸高田市の創生をめざし議論し表現したものであり、表現こそ異なるものの、いわゆる国が提唱している「地方創生」の考え方に通じるものと考えています。</p>
3	序論 2 社会情勢の変化 P3	旧町別の将来人口予測について、年齢別人口、高齢化率推移、将来世帯数、ひとり暮らし高齢者数等も提示してはどうか。	<p>構想は、市のめざす大きな方向性を示すものです。そこで、人口予測の主要データのみを掲載することとしました。</p>

	1) 人口減少・少子高齢化の進展		旧町別の把握可能な年齢別人口、高齢化率等のデータについては、資料編に掲載したいと考えています。また、施策立案に際しては、これらのデータを踏まえ検討します。
4	P6 3) 社会経済構造の変化	経常収支比率、財政調整基金残高、築年別公共施設整備量等、類似団体との比較を含めてグラフ提示してはどうか。	経常収支比率等の財政データは、市ホームページに毎年度掲載しており、今後も情報提供に努めてまいります。 また、築年別公共施設整備量については、個別計画を検討する中で取り扱ってまいります。
5	P8 5) 「もやい」の精神による自助・共助・公助の推進	「もやい」の用語解説が必要ではないか。	用語解説を加えます。
6	3 前回の振り返り 2) 主な施策実績 P13 P14	施策実績として以下を追加してはどうか。 ①多文化共生社会への理解のための啓発活動や海外から来られた方々との交流機会創出に努めたこと ②地域を拠点とするスポーツを中心に、多くのスポーツ種目に関わる子どもたちの活動を支援してきたこと ③放課後児童クラブの時間延長、病後児保育、中学校までの医療費無料化を実施したこと ④定住促進団地の整備、婚活支援	施策実績例として追記を検討します。
7	基本構想 1) 将来像と目標人口	将来像と基本理念を分かりやすく文立てしてはどうか。	「将来像」と「将来像の実現に向けた3つの挑戦」としてわかりやすくなるよう、構成を見直します。

8		<p>「都市」という言葉に違和感がある。 自然豊かな「田舎」を魅力と感じて移住してこられる方々を迎えられる、包容力のあるまちづくりを行ってほしい。</p>	<p>目指すのは、田園と山並みの豊かな緑、清流に囲まれた歴史と伝統ある落ち着きを生かしながら、都市的魅力と田園の安らぎが共生した都市、すなわち「田園都市」であり、その旨を追記しております。</p>
9		<p>「挑戦」という言葉に違和感がある。 自治振興組織の取組等、すでに挑戦の時期から成熟あるいは熟成にむかっているのではないか。あるいは、「再発見」など。</p>	<p>少子高齢化・人口減少等、社会情勢が目まぐるしく変化する中、常に挑戦し続ける必要があると考えています。</p>
10		<p>将来像は、誰に向かって語られているのかわからない。少なくともその視線を自分は感じるできなかった。将来像の中に、市のこれまでのことを内包してはどうか。</p>	<p>「将来像の実現に向けた3つの挑戦」という項目を立て、これまでに旧6町の速やかな一体化、地域の個性を生かした新市の均衡ある発展と、住民の福祉の向上、合併によるスケールメリットを活かしたまちづくりに取り組んできたこと、厳しい財政状況や予想を上回る人口減少の中、今後さらに厳しさを増すことが想定されること等に言及しました。</p>
11		<p>男女共同参画宣言都市であるにも関わらず、女性の社会参画に関する言葉が見当たらない。審議会にも女性が一人しかいない。</p>	<p>女性の社会参画について、基本構想では男女共同参画という言葉で包含していますが、基本計画の中で言及していきます。 審議会の委員構成については、当然その課題意識をもって取り組みましたが、結果としてそうなったということでご理解をお願いします。この件については、今後もより実効的な取り組みを検討してまいります。</p>

12	P20 2) 目標人口	<p>将来人口の設定根拠に地域振興組織のことが書いてあるが、どの程度施策支援が行われるのか。将来人口を現状趨勢+1200人を目指すのであれば、その達成に向けたなんらかの文言が必要ではないか。</p>	<p>目標人口達成に向け、政策目標に掲げた内容に取り組んでまいります。具体的な支援策については、基本計画の中で言及してまいります。</p>
13	全般	<p>目標人口は、27,500人としているが、現在の30,000人から2,500人減少した場合、経済規模で何%の減少、固定費を除いた住民サービスは何割を削減することになるといった予想分析がない。</p> <p>必ずしもバラ色でないことをもっと表現すべきではないか。</p> <p>(自助は補助金の減少、個人負担の増加を伴うとか)</p>	<p>今後の社会情勢に対する危機感については、序論の中で言及しております。また、詳細なデータについては、基本計画や個別計画を策定する際に、掲載を検討します。</p>

14	向原高校の構想案と市への意見	<p>向原高校では、この度提示した構想案をもとに、以下のとおり向原高校の構想案を作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域資源が活かせるまちづくりへの挑戦 神楽味噌を使ったお好み焼きを知ってもらおう。 ■協働によるまちづくりへの挑戦 ボランティア活動に積極的に参加するよう呼びかける。 ■安心して暮らせるまちづくりへの挑戦 菊花祭を伝承する。美化活動を積極的に展開する。 ■人がつながる都市にむけ 地域とのかかわりを大切にボランティア等へ参加する。 安芸高田らしさを前面に生き生きした暮らしをめざす。 ■市への提案 各学校の生徒や地域の方々の参画により安芸高田をアピールできる大きな行事を計画し、特産品やグルメの販売、神楽や太鼓などの発表をしたらどうか。 	<p>基本構想の実現は、市内のあらゆる主体の参加と実践により達成されるものです。向原高校の皆さんの自らできることを実践し、安芸高田市のまちづくりに参加しようとする意欲に対し、敬意を表します。参加の仕組みづくりは重要なテーマであり、今後策定する基本計画の中で具体策を検討してまいります。</p>
----	----------------	--	--